

GSAS&JSCA 講演会

【主催】一般社団法人群馬県建築構造設計事務所協会
 【主催】一般社団法人日本建築構造技術者協会群馬サテライト

建築物の地震被害、構造実験と耐震設計

日時：2019.2.1(金)
 15:30~17:00 (受付：15:00~)

場所：前橋テルサ 8階 けやきの間
 前橋市千代田町二丁目5番1号
 TEL 027-231-3211
 参加費：無料
 定員：100名 (定員になり次第締切)



講師：壁谷澤寿海 先生

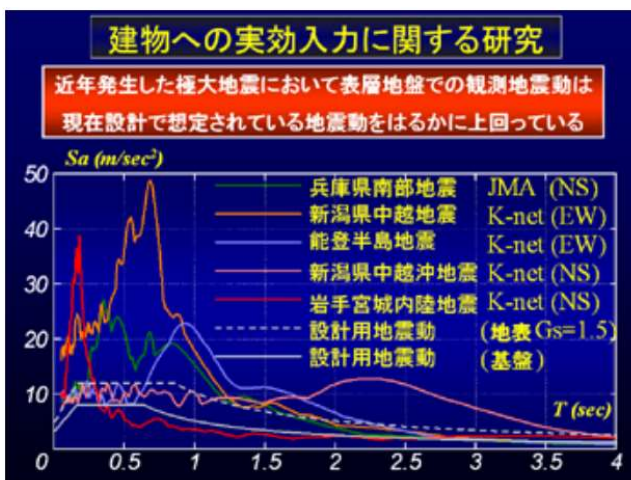
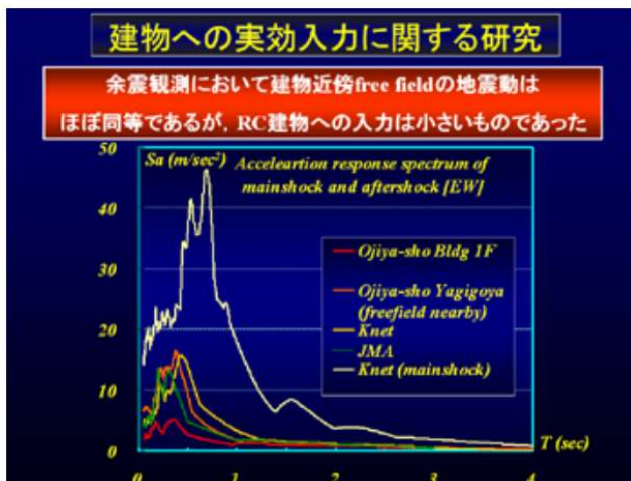
群馬県建築構造技術センター建築物耐震診断判定委員会の委員長を務めて頂き、日頃より大変お世話になっている壁谷澤先生のご講演です。建築物の地震時の挙動について、地震被害や構造実験の事例などを通してご説明いただき、地震被害を軽減するための耐震設計のポイントについて学びます。

講師略歴

1976年 東京大学工学部建築学科卒業
 1978年 東京大学工学系研究科建築学
 専門課程修士課程修了
 1978年 大成建設株式会社
 1980年 東京大学工学部 助手
 1981年 横浜国立大学工学部 助手
 1989年 横浜国立大学工学部 助教授
 1996年 東京大学地震研究所 教授

研究テーマ

鉄筋コンクリート構造物と部材
 特に耐震壁の実験とモデル化
 鉄筋コンクリート構造物
 特に壁ルーム構造、R/Cリット構造の動的解析
 構造物の地震応答の理論
 例えば、非線形応答変位に関する理論
 設計用地震動の強さと性質
 例えば、塑性設計のための地震動強さの尺度
 鉄筋コンクリート建築物のモデルコードの開発
 特に性能評価型耐震設計



建物への実効入力に関する研究

- 設計基準、指針:主に過去の地震被害から経験的に修正、採用されてきた。
- 観測地震動は設計用地震動を大きく上回る場合が珍しくない。
- 地震動と被害(被害率)の関係は、観測、実験、解析で総合的に説明できているわけではない。
- 実際の建物の性能はまだ余力がある。入力損失の影響も大きい可能性もある。

↓

- (1) 過去の被害を理解する
- (2) 真の安全限界状態を明らかにする
- (3) 観測、実験、調査研究を地道に続ける
- (4) 地震動の不確定性を意識する

- 申込み：お名前・所属団体名・電話番号を明記の上電子メールでお申し込みください。
 <メール送信先> gsas-soumu@gunma-as.net
 <申込み期限> 1月25日(金曜日)
- お問合せ：一般社団法人群馬県建築構造設計事務所協会 担当：原澤
 e-mail: harasawa@olive.ocn.ne.jp TEL 0279-55-5309